

「全国総文祭に参加して」

3年6組 矢口 遼

私は、全道高等学校囲碁選手権大会でAクラス5位という成績を収め、7月31日から鹿児島県指宿市で開催された「全国高等学校総合文化祭囲碁部門団体戦」に出場しました。Aクラスで出場したのは2回目でしたが、1回目ときの成績は良いものではなかったので、「まさか自分が全国大会に出られるなんて」と、驚きと喜びでいっぱいでした。

その後は、部活外でもスマホアプリを用いて対局をするなど囲碁との接し方を変え、棋力の向上を図りました。そして、万全の状態で、総文祭初日を迎えることが出来ました。全国大会の出場が決まった時、私は北海道の代表として大会に参加するということに大きなプレッシャーを感じていました。以前、将棋の大会で団体戦に出場した時、プレッシャーからか、実力を十分に発揮出来なかったように感じられた経験がありました。そして今回、私は団体戦で大会に参加するため、実力を出し切れるか不安でした。しかし、そんな不安とは裏腹に、私は初戦で勝利を収めることができました。真ん中を大きく取りつつ、外周をしっかり削っていく流れで時間も余し、余裕を持って勝つことが出来、またチームとしても勝ち、幸先の良いスタートを切ることが出来てとても安心しました。

次の第2局は負け、第3局は終盤まで整地をするまでどちらが勝つかわからないような接戦となりました。しかし、寄せの一手手前の局面で、相手が手を抜いたことから相手の石を多く取ることが出来、対局に勝利することが出来ました。次の第4局では敗れました。これにより、1日目は2勝2敗という結果となりました。ここから2日目に2勝すれば、順位が1桁代になれる可能性も残っていました。しかし、2日目は2局とも負けてしまい、結果2勝4敗と負け越してしまいましたが、とても充実した2日間を過ごすことが出来ました。高校生活最後の年に、良い思い出を作ることが出来て良かったです。

